

内科:糖尿病専門医

高山赤十字病院 内科(糖尿病専門医)後期臨床研修プログラム

1. 研修期間：5年間

シニアレジデント：3年間（認定内科医取得、専門医取得準備期間）

チーフレジデント：2年（専門医取得期間）

シニアレジデント期間は内科の後期臨床研修プログラムに従う、本格的に行うのはチーフレジデント期間中である。

2. 後期臨床研修の目的

糖尿病の専門的治療ができ、かつ、糖尿病チーム治療の核となることができる。糖尿病罹患患者は他の疾患を合併していることが多いので、糖尿病治療を全人的医療中で実践する。

3. 到達目標

糖尿病専門医の取得

4. 研修プログラム

<シニアレジデント期間>

内科研修の中で数多くの糖尿病患者を入院で受け持つ。特にインスリン治療患者を多数例受け持つ。その中で下記の項目を達成する。

- ・糖尿病に関連した十分な病歴聴取ができる
- ・糖尿病の合併症の評価も含めた身体所見がとれる
- ・糖負荷検査の適応も含めた診断ができる
- ・病型分類ができる
- ・2次性糖尿病の鑑別ができる
- ・糖尿病の3大合併症の評価ができる
- ・大血管障害の評価ができる
- ・責任インスリンの考え方によるインスリン量の決定ができる
- ・低血糖に対する的確な対応ができる
- ・病態に応じた経口血糖降下剤の適応を決定できる

<チーフレジデント1年目>

日本糖尿病学会が提示する到達目標を基本に置き、研修を行う。多くの糖尿病患者を入院で受け持ち、自分が受け持った患者においては原則そのまま外来治療へと引き継ぎ、外来での管理も行う。また、糖尿病教室および糖尿病教育入院を担当する。その中で以下の項目を達成する。

- ・基本的な食事指導ができる
- ・運動療法の適応の決定および指示が出せる
- ・インスリン自己注射指導ができる
- ・血糖自己測定指導ができる
- ・1型糖尿病患者に対するインスリン投与量の自己調整の指導ができる
- ・糖尿病性神経障害に対する薬物療法の適応が決められる
- ・糖尿病性足病変の評価および治療法の指示ができる
- ・糖尿病性腎症に対する治療方針が決定できる
- ・糖尿病性腎症による腎不全における透析導入およびその管理ができる
- ・糖尿病性神経障害を有する患者に対する日常生活指導ができる
- ・シックデイの管理ができる
- ・糖尿病性非ケトン性高浸透圧性昏睡の治療が出来る。
- ・糖尿病性ケトアシドーシスの治療ができる。
- ・妊娠糖尿病の管理ができる

<チーフレジデント2年目>

チーフレジデント1年目の内容を深め、外来のみでのコントロールも受け持つ体制とする。
糖尿病専門医を取得する。